

1 リニモの経営安定化策及び沿線開発について

項 目	内 容
<p>1 経営安定化策 (1) 利用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 愛知万博期間中は、1日当たり106,000人で約2,000万人を輸送し、アクセス面で大きく貢献した。 ○ 愛知万博後は、H17年度下半期は1日あたり10,500人、H18年度は13,700人、H19年度は15,600人と利用者は着実に増加しており、H20年度上半期も17,700人で、前年同期比5.8%の増加となっている。
<p>(2) 今後の経営見通しと喫緊の経営課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 需要見通し 引き続き、利用者の増加に向けて、沿線開発や周辺施設への来訪者増などの利用促進に関係者が一丸となり取り組むことにより、概ね20年後に1日あたり利用者25,000人を見込む。 ○ 会社の経営改善努力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業費（減価償却費、諸税を除く）は、人件費、修繕費を中心にH19年度はH18年度と比べ1億7千万円（15%減）を削減した。今後も安全確保を前提に、人員配置の効率化、出向社員から固有社員への切替などを進め、H20年度からH25年度までに人件費を総額4億3千万円削減する。（H19年度末85人 ⇒ H25年度末77人） ・ リニモ体験貸切列車の販売促進、イベント企画・列車の運行、広告掲出顧客の開拓などにより、引き続き増客増収に努める。 ○ 収支の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度には、減価償却前営業損益の黒字化（ランニングコストを収入で賄うことができる状態）がほぼ達成できる見込み。 ・ しかし、初期投資（約356億円）に伴う多額な減価償却費のため、20年度決算で債務超過が見込まれ、また、多額な借入金の償還が、21年度から本格化することから、22年度には資金不足が見込まれる。 <p>⇒ このまま何らの経営支援を行わないとすれば、リニモ会社の継続が困難</p> <p>⇒ 将来にわたる安定的な経営基盤の確保ができる支援が必要</p>

項 目	内 容
(3) 経営安定化策	<p>○ 経営安定化に向けた基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>将来にわたる安定的な経営基盤を確保するため、長期借入金(※)償還負担を会社経営から切り離すとともに、資本を増強することにより、会社の収入でランニングコストを賄うことで自立的かつ持続的にリニモ運営ができる会社とする。</u> <p>※ 20年度末残高 約278億円(内訳:自治体借入金…約148億円、金融機関借入金…約130億円)</p> <p>○ 経営安定化策の検討・調整状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>上記の基本的考え方を踏まえると、本来、長期借入金(約278億円)相当額の「増資」が必要である。</u> ・ <u>増資は、既存株主の出資割合を基本に、現金出資、現物出資(貸付金の株式化)による対応が考えられる。</u> ・ <u>しかしながら、現在、県財政は大変厳しい状況にあり、また、主要株主との調整の中で、リニモの存続が不可欠との共通認識はあるものの、未曾有の経済危機の下、沿線市町の財政状況、民間の経営状況とも非常に厳しい状況にあることから、段階的な対応も視野に入れながら検討・調整を行っている。</u>

経営支援のない場合の長期収支見通し(試算)

(単位：百万円)

年度	16実績	17実績	18実績	19実績	20	21	22	23	24	25	29	34	39	44	46	47
経過年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	14年目	19年目	24年目	29年目	31年目	32年目
輸送人員(人/日)	50,700	58,400	13,700	15,600	16,500	17,400	17,700	18,100	18,500	18,900	21,900	23,200	24,700	25,000	25,000	25,000
営業収益	346	4,670	903	1,052	1,080	1,136	1,148	1,173	1,198	1,223	1,409	1,490	1,583	1,601	1,601	1,601
営業費	1,009	4,881	3,713	3,353	3,194	3,039	2,791	2,717	2,663	2,661	2,544	1,919	1,461	1,319	1,430	1,398
(うち減価償却費)	252	2,484	2,303	2,142	2,023	1,909	1,651	1,546	1,479	1,463	1,271	754	334	261	202	202
営業損益	△ 664	△ 211	△ 2,810	△ 2,301	△ 2,115	△ 1,903	△ 1,643	△ 1,544	△ 1,465	△ 1,438	△ 1,135	△ 429	121	282	172	203
(減価償却前営業損益)	△ 412	2,273	△ 506	△ 160	△ 91	6	8	2	14	25	136	325	455	543	373	404
営業外費用(支払利息等)	147	295	300	318	315	316	312	293	274	258	193	79	24	19	9	0
当期純損益	△ 614	△ 340	△ 3,024	△ 2,609	△ 2,417	△ 2,220	△ 1,956	△ 1,838	△ 1,740	△ 1,696	△ 1,329	△ 509	96	208	96	120
(減価償却前当期損益)	△ 362	2,144	△ 720	△ 467	△ 395	△ 311	△ 305	△ 292	△ 261	△ 234	△ 58	245	430	468	298	322
累積損益	△ 817	△ 1,157	△ 4,181	△ 6,790	△ 9,208	△ 11,428	△ 13,384	△ 15,222	△ 16,962	△ 18,659	△ 24,764	△ 28,541	△ 30,199	△ 29,505	△ 29,275	△ 29,155

資本金	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120	7,120
純資産(マイナスは債務超過額)	6,303	5,962	2,939	331	△ 2,088	△ 4,308	△ 6,264	△ 8,102	△ 9,842	△ 11,539	△ 17,644	△ 21,422	△ 23,079	△ 22,385	△ 22,155	△ 22,035

長期借入金返済	0	0	0	358	358	938	938	938	1,116	1,444	1,034	699	1,110	1,194	775	0
累積資金収支	690	4,165	3,444	2,618	1,866	617	△ 626	△ 1,856	△ 3,233	△ 5,206	△ 10,885	△ 14,405	△ 19,612	△ 23,191	△ 24,568	△ 24,246

※ 計数については、精査の結果、異動を生ずる場合がある。また、端数処理のため合計が一致しない部分がある。